



図書館からの伝言板

秋の長夜、と昔から言われています。

これは日の入りが早くなり、夜の時間が長くなることから、言われていることです。

さて、皆さんはどんな風に過ごしますか？

そう尋ねると、大多数の方は塾、部活、宿題に大忙しでゆっくりしてられない、と返ってくるでしょう。

今の中高生はかなり忙しい日々を送っていますね。

ゆっくり本を読むなんて時間はあまりないのが現状でしょう。

短い時間でも読める短編でも読んでみたら、とお勧めするのは簡単ですが、あえて長編小説に挑戦するのはいかがでしょう？
言っておきますが、一気に全編読んでね、とは言いません。

時間のない皆さんにそれは酷な話ですからね。

なので、1日10分読めるところまで読んでいく、というチャレンジはどうでしょう？

10分の時間もないよ！というなら、1ページでもいいです。
ほんの少しずつ読んでいくなら、負担もそれほどないと思います。

それでも大変だ、という方は休みの日にちょっとだけ読み進めるでも良いです。

重要なのは本に触れる、ですからね。

そもそも本を手取るのもおっくうというなら、色々な手段があります。

CDの読み聞かせを聞く。電子書籍を読む。手段は色々あります。

指の先程度で良いので、ほんの少しだけ興味を持ってもらえればうれしく思います。

お気に入りの作家さんがいるのなら、その人の作品を読むもよし。

ライトノベルの長編シリーズならば、1巻から読むもよし。

図書館にはいろんなシリーズ、長編小説があるので、手に取ってください。

YAコーナーでは人気のシリーズがいくつかありますが、アニメ化した作品もあるので手に取りやすいかと思います。

『転生したらスライムだった件』や『ソードアートオンライン』もあるので、ぜひどうぞ。



ヤングアダルト

Y A

ブックリスト



裾野市立鈴木図書館

2023.9



ふせごう！デジタル近視 Y496 フ

デジタル機器から目を守ろう！

現代社会で切っても切り離せない身近なものとなった PC、タブレット、そしてスマートフォン。

とても便利な機器でも、目をとても酷使して、最近では子どもの近視も増加している。

それらからどうやって目を守るか。そもそも目ってどんな構造をしているのか。

そんな疑問にイラストをト交えて、分かり易く説明している 1 冊です。



木が泣いている Y652 ナ

世界有数の森林国である日本。その森は今、荒廃が目立ち、木も森も泣いているように見えます。

人の手によって植えられた杉の木。すでに成長し、人の手入れが入って利用されるところなのに、木製品の需要が減っているから放置された上にスギ花粉による花粉症の問題があるから伐採してしまえ、という声さえも上がっていると言います。

でも、本当の問題は違うのです。その問題と森を救うために必要な SDGs は何かを考えることが森を救う一歩に繋がります。



ちくま Q ブックスシリーズ Y320 オ他

10 代のためのノンフィクション読書シリーズ。

SDGs やウイルス、食物などの身近な「なぜ？(Question)」をスタート地点に「知りたい」ことに答えるシリーズです。

このシリーズが大切にしていることは『なぜ？』から正解を導くことではなく、「探究(Quest)」することの大切さを伝えることです。

正解は1つではなく、いくつもの正解がこの世の中には沢山あることを知って、自分なりの正解を見つけていく中で次の「なぜ？」に繋がっていきます。とても読みやすいシリーズなのでぜひどうぞ。



ややの一本 Y913 ヤ

小さい頃から続けていた剣道。でも、道場が閉鎖になってできなくなってしまった。

だからと言って、別の道場へ通うなんて絶対に嫌だ。

なら、学校に剣道部を作ろう！と決意した主人公・やや。

しかし、顧問は決まらない、部員は集まらない、何よりも道場がない、と大変なことばかり。

道場の先生から習った『正しく強い剣道』のため、持ち前も行動力で乗り越えていく。

無事、剣道部を作り、活動できるのか。



岸辺露伴ルーヴルへ行く YB913.6 キ

ルーヴル美術館はフランスが誇る世界有数の美術館の一つ。

その地をジョジョの奇妙な冒険の人気キャラ・岸辺露伴が訪れる。

漫画家・露伴は青年時代に淡い思いを抱いた女性から、この世で最も『黒い絵』についての噂を聞く。

時がたち、その絵がルーヴル美術館に所蔵されていると知った露伴はフランスへと旅立つ。

『この世で最も黒い絵』の謎とは。ルーヴルで露伴を待ち受けるのは果たして何か。映画ノベライズ本です。



天空の異世界ビストロ店 Y913.6 サ

念願のフランス一人旅ーのはずが、何の因果か空飛ぶ帆船が行きかう異世界に転移してしまった主人公。

異世界人だから、と手厚く保護されることに。ふつう驚いて、帰りたいと嘆かないのが主人公。異世界生活を楽しむことにしたところ、この世界へ初めて来た時に助けてくれた料理屋を成り行きで助けることを決意する。

手始めに考案したバケットサンドが大ヒット。

これで順風満帆、といかないのが世の中の常。

店は空港からの退店勧告を受けてしまう。この逆境をどう乗り越えるのか。必読です。



13 歳からの対話力 Y361 ジ

対話力ってなんだろう。簡単に言えば、人とのコミュニケーション、交渉事のこと。

この本では、いきなりクラス委員を任されて憂鬱な主人公の前に、ネゴ＝チャンという謎の生物が現れ、クラス内での問題を解決に導く対話力を伝授していく物語になっています。

そんな都合よく、と思わず、読んでみてください。

マンガ構成で分かり易く、コミュニケーション力をアップさせるヒントがちりばめられています。



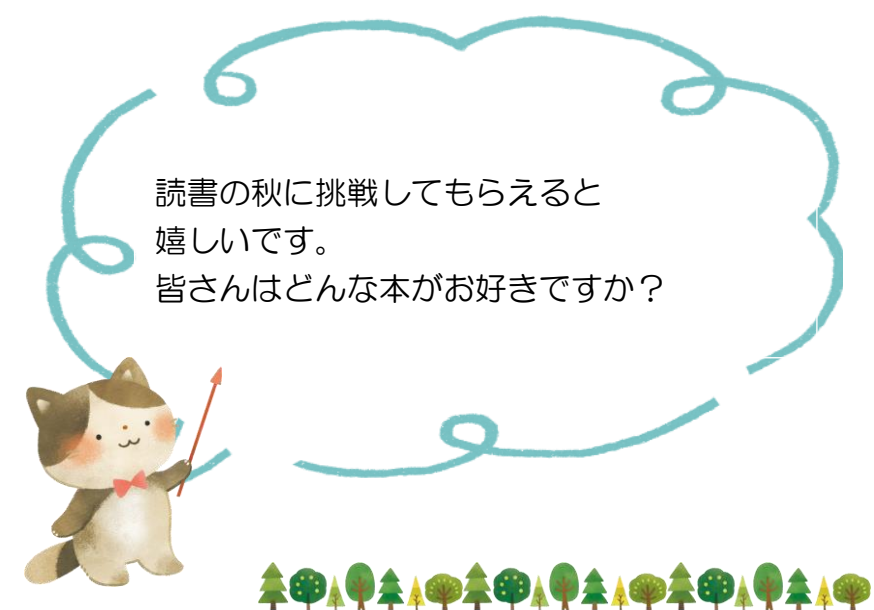
フツウと違う少数派のキミへ

ニューロダイバーシティのすすめ Y378.8 ス

いつも毎日がうまくいなくて、フツウにすごしたいあなたへの 1 冊です。

最近、1 人 1 人声や顔が違うように脳も異なることがわかってきました。「ニューロダイバーシティ」とは脳にも多様性があることを理解し、相互に尊重し、それらの違いを社会の中で活かしていこうという考え方です。

人とは違うのはおかしいのではありません。ほとんどの人は実は少数派。フツウは一つではないことが分かる 1 冊です。



読書の秋に挑戦してもらえると嬉しいです。
皆さんはどんな本がお好きですか？

